

開講年次・時期	1年後期	授業回数	8回	時間数	15時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA110	科目名	スポーツと健康(講義)	担当者名	菅原文子
授業の概要	スポーツと健康の関わりについて科学的に学ぶことにより、健康的な生活を送るための実践力を身につける。				
科目の到達目標	(1)スポーツ文化の多様性について考察し、表現する。 (2)健康を適切に管理し、改善するための方法について考察し、表現する。 (3)他者との学び合い等を通して、考えを広げたり深めようとする態度を身につける。				
DPの観点	①聴く力(10) ④協働力(20) ⑥専門知識・技能(30) ⑦思考力(20) ⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修(予習・復習)	テーマに応じ事例の情報収集等を指示する。				
フィードバックの方法	授業内の課題に対する取り組み状況・結果を毎時間フィードバックする。				
単位認定の要件	授業に対して積極的に取り組み、見方・考え方を深めること				
評価の方法・割合(%)	授業への参加姿勢(60%) レポート(40%)				
履修上の注意事項	保育士及び幼稚園教員免許取得のための必修科目である。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			スポーツの歴史・起源	①⑥⑦	講義・グループワーク・レポート
2			スポーツのルールや技術の変化、種目の変遷	①⑥⑦	講義・グループワーク・レポート
3			運動と健康・感染症の予防	①⑥⑦⑩	講義・グループワーク・レポート
4			運動と健康・応急処置の意義と基本	①⑥⑦⑩	講義・グループワーク・レポート
5			健康を考える	①⑥⑦⑩	講義・グループワーク・レポート
6			幼児期の運動:運動の発達・運動遊び	①⑥⑦⑩	講義・グループワーク・レポート
7			無理なく・楽しくできるダンスづくり①	④⑥⑦⑩	グループ演習・レポート
8			無理なく・楽しくできるダンスづくり②:発表	④⑥⑦⑩	グループ演習・レポート
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験					

使用テキスト	
参考文献 参考URL	・スポーツの歴史と文化(道和書院) ・スポーツルール学への序章(大修館書店) ・これからの健康とスポーツの科学(講談社) ・生涯スポーツと運動の科学(市村出版) ・スポーツの得意な子に育つ運動遊び
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--